

# アクサ生命 PRESS RELEASE

2016年11月24日

## アクサ生命、2016年度上半期末(2016年4月1日～9月30日)の業績を発表

重要: 本資料の業績は日本の会計基準に基づくものであり、AXA グループに連結する際に用いる IFRS (国際財務報告基準) ベースの数値とは異なります。

アクサ生命保険株式会社(本社:東京都港区、代表執行役社長兼 CEO:ニック・レーン)は、日本の会計基準に基づく2016年度(平成28年度)上半期末の業績を発表しました。

### 収入指標

- 保険料等収入は、前年同期比 16.5%増の 3,206 億円。これは主に、昨年、導入したアップサイドプラスやユニット・リンク保険などの好調な販売が継続していることによるもの。

### 収益指標

- 基礎利益は、前年同期比 36.1%減の 154 億円。これは主に、新契約の増加による費用の増加や、低金利などのマーケット要因による利息配当金等収入の減少によるもの。
- 純利益は、前年同期比 60.7%減の 29 億円。これは主に基礎利益と同様の減少要因などによるもの。

### 財務基盤

- ソルベンシー・マージン比率は、2015年度末の 761.2%から 69.9ポイント増加し、831.1%。

アクサ生命の代表執行役社長兼 CEO、ニック・レーンは、次のようにコメントしています:

「2016 年上半期、ユニット・リンク保険やアップサイドプラスなどの好調な販売が継続したことにより、引き続き、保険料等収入は前年同期比で二桁増となった。」

「本年 9 月には、初期の通院・投薬から保障する『予防・早期治療サポート』ならびに社会保障の新制度である患者申出療養制度に対応した業界初の『患者申出療養サポート』の革新的な 2 商品を新たに導入し、販売は好調な滑り出しを見せている。」

「また、代理店を通じた新契約電子システム『アクサ コンパス』の利用開始ならびにご契約者向けアプリ『My アクサ』や、シニア向け見守りアプリ『アーユーOK?』の提供開始など、さまざまなデジタル施策によりお客さまの利便性は着実に向上している。」

「新契約費の増加などにより収益は減少したが、同上半期末のソルベンシー・マージン比率は、2015 年度末から 69.9ポイント増の 831.1%となるなど、お客さまを将来にわたってお守りするための強固な財務基盤を堅持している。」

「今後も、コスト効率を高める施策に一層注力することによって、会社変革を促進し、お客さまの新たなニーズを捉えた革新的な商品・サービスの開発に注力していく。それにより、お客さまから最も信頼されるパートナーとなることを目指していく。」

#### アクサ生命について

アクサ生命は AXA のメンバーカンパニーとして 1994 年に設立されました。AXA が世界で培ってきた知識と経験を活かし、233 万の個人、2,200 の企業・団体のお客さまに、死亡保障や医療・がん保障、年金、資産形成などの幅広い商品を、多様な販売チャネルを通じてお届けしています。2015 年度には、2,747 億円の保険金や年金、給付金等をお支払いしています。また、「アクサ損害保険」と「アクサダイレクト生命」を連結する親会社として、子会社各社の経営管理・監督を行っています。

#### AXA グループについて

AXA は世界 64 개국で 16 万 6,000 人の従業員を擁し、1 億 300 万人のお客さまにサービスを提供する、保険および資産運用分野の世界的なリーディングカンパニーです。国際会計基準に基づく 2015 年度通期の売上は 990 億ユーロ、アンダーライティング・アーニングス(基本利益)は 56 億ユーロ、2015 年 12 月 31 日時点における運用資産総額は 1 兆 3,630 億ユーロにのぼります。AXA はユーロネクスト・パリのコンパートメント A に上場しており、AXA の米国預託株式は OTC QX プラットフォームで取引され、ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックス(DJSI)や FTSE4GOOD などの国際的な主要 SRI インデックスの構成銘柄として採用されています。また、国連環境計画・金融イニシアチブ(UNEP FI)による「持続可能な保険原則」および「責任投資原則」に署名しています。

～本件に関するお問い合わせは下記までお願いいたします～

アクサ生命保険株式会社 広報部

電話:03-6737-7140 FAX:03-6737-5964

<http://www.axa.co.jp>

アクサ生命保険株式会社 2016 年度  
上半期末主要業績

(1) 個人保険・個人年金保険の年換算保険料

1. 新契約の年換算保険料

(単位:百万円、%)

	2015 年度上半期累計期間	2016 年度上半期累計期間	前年同期比
個人保険	23,905	25,770	107.8
個人年金保険	3,359	△5	—
合計	27,265	25,764	94.5
うち医療保障・ 生前給付保障等	8,861	8,016	90.5

2. 保有契約の年換算保険料

(単位:百万円、%)

	2015 年度末	2016 年度上半期会計期間末	前年度末比
個人保険	412,697	423,129	102.5
個人年金保険	112,313	105,859	94.3
合計	525,010	528,988	100.8
うち医療保障・ 生前給付保障等	204,442	205,443	100.5

(2) 保険料等収入

(単位:百万円、%)

	2015 年度上半期累計期間	2016 年度上半期累計期間	前年同期比
保険料等収入	275,242	320,641	116.5

(3) 基礎利益

(単位:百万円、%)

	2015 年度上半期累計期間	2016 年度上半期累計期間	前年同期比
基礎利益	24,199	15,466	63.9

(4) 純利益

(単位:百万円、%)

	2015 年度上半期累計期間	2016 年度上半期累計期間	前年同期比
純利益	7,558	2,973	39.3